

神宿る隣の自然

祭祀一体の緑から地域の健全な暮らし方を探る

これからの都市づくり、景観設計のヒントは、
地域に昔から根差している「自然」との共生にある。

街に自然を求めるのは、日本人だからだろうか。

わたしたちは昔から祭祀の空間と共に生きてきた。
本当に存在するのか、しないのかはわからないけれども、
少なくともわたしたちはそこに「カミ的なもの」を感じながら、
それに畏敬の念を持ち、尊んで人としての営みをおこなってきたのだ。

本書は、地域生態学、緑地計画学等を専門とする研究者の多岐にわたるフィールドワークにより、現代社会で失われつつある地域コミュニティを再生する力を、祭祀空間から考察した一冊だ。専門家11名による伝統的な「祭祀の場」に関する膨大な研究の集大成である。

本書では「神宿る隣の自然」とは街を歩いていて時に出会うことのある、まつられた樹木や樹林、祠、鎮守の森等を指しているが、ここには「抛り所性」と「公共性」があり、それはかつての地域住民をつないでいた場所だとしている。こうした「神宿る森」や「隣の自然」をいかに今後も継承・保全できるか。この視点こそが、これからの「自立・持続するまちづくり」を進める大きなヒントとなるであろう。

●「自然と発展」の共生を再考する、意義ある一冊です。

神宿る隣の自然

上浦木昭春
押田佳子
上田萌子
大平和弘
川野和昭
寺田仁志
田原直樹
角野幸博
松尾あずさ
井原緑
高田知紀



祭祀一体の緑から
地域の健全な
暮らし方を探る

文化財指定による
モイドン(森)保全
狭小神社から広がる
まちづくり
神社空間をコアとした
防災コミュニティ
祭祀の場のリ・デザイン

実地調査をもとに、
祭祀の場の現状と
課題、役割を考察

定価：2,420円(10%税込)

編著代表者略歴

上浦木昭春 (かみほぎあきはる)

大阪府立大学名誉教授、丹波の森研究所特任研究員。
鹿児島県鹿屋市出身。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。博士(学術)。株式会社景観設計研究所、兵庫県立人と自然の博物館主任研究員、大阪府立大学大学院教授等を経て、2019年より丹波の森研究所特任研究員。
著書に『地域生態学からのまちづくり』(学芸出版社)、『はじめての環境デザイン学』(理工図書、共著)など。

押田佳子 (おしだけいこ)

日本大学理工学部まちづくり工学科准教授。
兵庫県神戸市出身。大阪府立大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程修了。博士(農学、工学)。大阪府立大学客員研究員、日本大学理工学部研究所研究員、日本大学理工学部社会交通工学科助教等を経て、2015年より現職。
著書に『eco検定 超速マスター 第4版』(TAC出版)など。

貴店印・帳合

ご注文数

神宿る隣の自然

上浦木 昭春/編著

定価：本体2,200円(税別)

ISBN978-4-910739-14-4

発売日：2023年1月13日

四六判並製/288頁

ご担当

様

冊

PHPエディターズ・グループ

発行

PHPエディターズ・グループ

〒135-0061

東京都江東区豊洲5-6-52 11階

☎ 03-6204-2931

FAX 03-6204-2932

ご注文はJRCへ▶▶▶ FAX 03-3294-2177

※返品条件付き注文扱い

すべての取次への出荷が可能です。